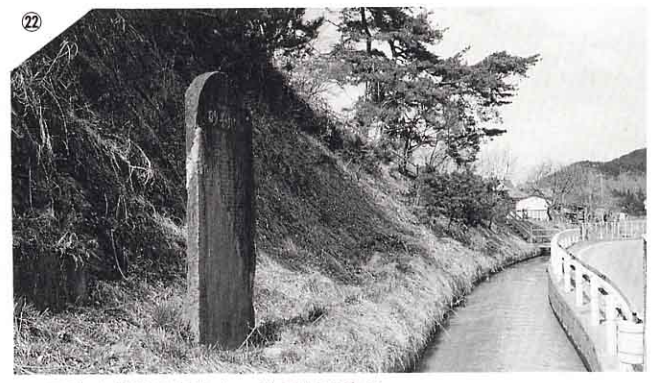




▲ 丸タンクのそばにたてられた東根堰につくした人の記念ひ



▲ 石丸山公園の下にたつ砂子堰記念ひ

● 用水路の年表

西暦	年号	ことがら
1596	慶長元年	阿武隈川の水を箱崎のところで取水しようとして工事が失敗した。
1596	慶長3年	広瀬川の水を取水しようと計画し着工した。(砂子堰のはじまり)
1600	慶長5年	一部が完成した。
1604	慶長9年	砂子堰が開通した。
1605	慶長10年	阿武隈川からの取水工事がまた失敗した。
1616	元和2年	砂子堰の取入口を改良した。
1618	元和4年	(西根下堰が完成した。)
1624	寛永元年	(西根上堰を開くために着工した。)
1632	寛永9年	(西根上堰が7年間かかって完成した。)
1674	延宝2年	砂子堰の大修理が行われた。
1675	延宝3年	水を田に取り入れる時間などのきまりを決めた。
180?	享和?年	砂子堰の修理。
1807	文化4年	阿武隈川からの取水工事がまた失敗した。
182?	文政?年	堰が約200mこわれる、20両でなおす。
1832	天保3年	砂子堰に新堰がきずかれた。
1835	天保6年	新堰上工事が行われた。(泉原地区) 人足700人
1848	弘化5年	2年の年月をかけて、片貝山と石丸山のトンネルが完成。(236メートル)
1853	嘉永6年	砂子堰の負担をへらしてほしいという願いが出される。
1875	明治8年	阿武隈川からの取水工事が測量のあやまりで、またまた失敗となる。
1882	明治15年	砂子堰の大修理着工。
1890	明治23和	大修理が完成。
1891	明治24年	水利組合のきまりができた。
1970	昭和45年	水路の大改修に着工。
1982	昭和57年	水路の大改修完成。(トンネル252m、水路7,720m) 工費2億4千万円
1987	昭和62年	団体営かんがい排水事業着工。(梁川細谷地区)
1992	平成3年	団体営かんがい排水事業完成。

(保原町役場 東根堰土地改良区の資料より)

西暦	年号	ことがら
1909	明治42年	阿武隈川より電力ポンプで揚水することが計画されて着工。(箱崎)
	大正3年	電力ポンプをつかった阿武隈川水が完成。東根堰ができるまで使用。
1935	昭和10年	阿武隈川信夫発電所ダムから取水する東根堰工事が県の事業として始まる。
1944	昭和19年	東根堰の工事が完成した。
1945	昭和20年	上保原大柳の丸タンクより下流の水路改修工事が完成。
1948	昭和23年	アイオン台風による水路のいたみの復旧工事をする。
1952	昭和27年	トンネルや水路の修理を3か年継続で行う。
1973	昭和48年	5か年継続事業として、水路をコンクリートにする工事を着工。
1984	昭和59年	信達トンネル改修工事着工。(昭和48年からの最後の部分)
1989	平成元年	昭和48年から始められた用水路の改修工事が完成。総事業費24億9,100万円。総延長19,960m(トンネル部分6,456m)
1989	平成元年	東根堰改修記念碑建立。

● 用水路の開発につくした人々

**わたなべ しんざえもん**  
**渡辺 新左衛門**  
 砂子堰の用水路を梁川の堀江と五衛門とともに開発した。下保原村開拓の指導者。  
**さんだい ふなやま しやうぞう** 1788~1857 (天明8年~安政4年)  
**三代 舟山 庄蔵**  
 砂子堰の片貝山隧道を、**おおいしぎさぶろう** (保原) **むらかみとう** 村上藤七 (大田) らとともに完成させた。  
**くまがた ろくろう べい い**  
**熊坂 六郎兵衛** 1862~1936 (文久2年~昭和11年)  
 地域の水不足をなくすために努力した。東根堰を開発する計画や、工事の着工に力をつくした。  
**くまがた ろくたろう** 1886~1967 (明治19年~昭和42年)  
**熊坂 六太郎**  
 父六郎兵衛と同じく、東根堰の開発につくし、太平洋戦争下10年間にわたる工事を完成させた。  
**まつだ こうじろう** 1874~1972 (明治7年~昭和47年)  
**松田 甲次郎**  
 村長や県会議員をあわせて40年もやり、東根堰の開発などの水利事業にも力を注いだ。